

12月に入り、貨物鉄産労北海道地区本部での組織拡大の報告が昨日届いたばかりであるが、本日、JR北労組より苗穂工場で働く21才の青年が11月19日に加入したとの連絡が入った。JR北労組では、8月17日にも函館地区本部で平成採用者の加入を勝ち取っており、JR北海道の安全確立と信頼回復のために策定した「JR北海道再生プラン」の実現へ、愚直に取り組むJR北労組に対して、着実に共感が広がっていることが裏付けられた格好だ。

北海道で組織拡大続く

JR北労組に21才の青年が北鉄労から加入！

絆・和を大切に世話役活動や業務に取り組む苗工支部

今回、加入した21才の青年が働くのは、JR北海道の苗穂工場。JR北海道で運行している車両の多くを検査・修繕する職場である。この苗穂工場において、JR北労組苗穂工場支部は「社員間の絆・和を大切にして、利用者や道民からの信頼を回復する活動」に取り組むとともに、日常の献身的な世話役活動や業務に対する真摯な姿勢を着実に実践してきた。

今回の組織拡大は、本人が下した重大な決断とJR北労組の取り組みが評価された結果であることに他ならない。JR連合に結集する全国のJR各社及びグループ会社で働く組合員81,000人は、心から歓迎の意を表明する。

JR北労組は「JR北海道再生プラン」実現目指す

JR北海道では、2011年5月27日に発生した石勝線列車脱線火災事故以降、「安全性向上のための行動計画」「安全基本計画」にもとづき、安全確立と信頼回復に全社をあげて取り組んできた。しかし、その後も車両事故やトラブル等が発生し、軌道検査データの改ざんなども判明している。

このような危機的な状況の中でJR北労組は、安全再構築と企業風土改革にむけて、組合員との対話行動を展開、現場の声を反映した「JR北海道再生プラン」を内外に発信し、その実現に取り組んできたところである。

JR北海道は、国土交通大臣から事業改善命令と監督命令を受けており、鉄道事業収入も減少傾向が続くなど、危機的な状況にある。JR北労組は引き続き、安全確立と信頼回復にむけて、愚直に取り組んでいく決意を明らかにしている。

安全確立と信頼回復に取り組むJR連合・JR北労組に結集しよう！